

環境報告書 2025

(2025年4月～2026年3月)

DAIHO INDUSTRIAL CO.,Ltd. Environmental Report



CONTENTS

環境マネジメント

経営基本方針・環境方針	...P2
環境組織	...P3
環境負荷の全体像	...P4
環境活動 計画・実績	...P5
環境関連法規制の遵守	...P5
改善取り組みの事例紹介	...P6

製品への取り組み

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品]	...P7
再生樹脂 [エコ リサイクルシステム]	...P7

社会的な取り組み

社会、地域への貢献活動	...P7
-------------	-------

環境レポートの範囲

対象範囲：国内事業場

大宝工業株式会社 本社

金型技術支援室	関東カンパニー足利工場
関東カンパニー大田原工場	関西カンパニー湖南工場
関西カンパニー河野工場	関西カンパニー鳥取工場
関西カンパニー名古屋営業所	九州カンパニー福岡工場
九州カンパニー大牟田工場	

タイロン株式会社

枚方工場	大田原工場
那須工場	大牟田工場
中部営業所	東京営業所

大宝浜松株式会社

対象期間：2025年度（2025年4月から2026年3月）

2024年度以前の環境取り組みも一部紹介しています。

ホームページでの開示情報

環境への取り組み

<https://www.daiho-gr.co.jp/eco/charter.html>

企業情報

<https://www.daiho-gr.co.jp/profile/outline.html>

発行

2026年7月(次回発行は2027年7月予定)

環境報告書に関するお問合せ先

大宝工業株式会社 環境管理事務局

〒570-0003 大阪府守口市大日町1-3-7

TEL 06-6908-8126

FAX 06-6909-5139

発行責任者：高桑恒治

大宝グループ

経営基本方針

1. 限りなき創造性を発揮して、新しい技術、新しい商品を開発し、社会の繁栄に役立つ仕事をしよう
2. 社会からお預かりしている、数多くの貴重な経営資源を大切に扱い、すすんで活用しよう
3. かけがえのない地球環境を、将来の世代に遺し、心豊かな人間集団づくりを通じて、社会生活の改善向上に役立つ

大宝グループ

環境方針

スローガン

「私たちは環境に思いやる人づくり・モノづくりを目指します」

1. ISO14001：2015の要求事項に沿った環境マネジメントシステムを構築し推進します。
2. 大宝グループとして継続的に環境活動の成果を向上させるために、マネジメントシステムの継続的な改善と環境保護（汚染予防・地球温暖化防止）に取り組みます。
3. 事業所内・外の良好な環境維持のため環境負荷改善に取り組みます。
 - ・環境に有益な事業活動（リサイクルの推進等）
 - ・エネルギーの効率的使用
 - ・資源の効率的使用
 - ・廃棄物の削減
4. 環境法規制等、組織の順守義務を遵守します。
5. 環境目的を達成する継続的な人づくりを推進します。

大宝環境憲章

大量生産、大量消費、大量廃棄型の産業構造や都市型の生活様式によって、地球温暖化、森林破壊、産業廃棄物処理、ダイオキシンや環境ホルモンなど有害化学物質の影響をうけて、環境汚染が地球規模で進行しつづけます。大宝グループでも、プラスチック成形あるいは2次加工の過程で知らず知らずのうちに、さまざまな形で環境に負担をかけています。

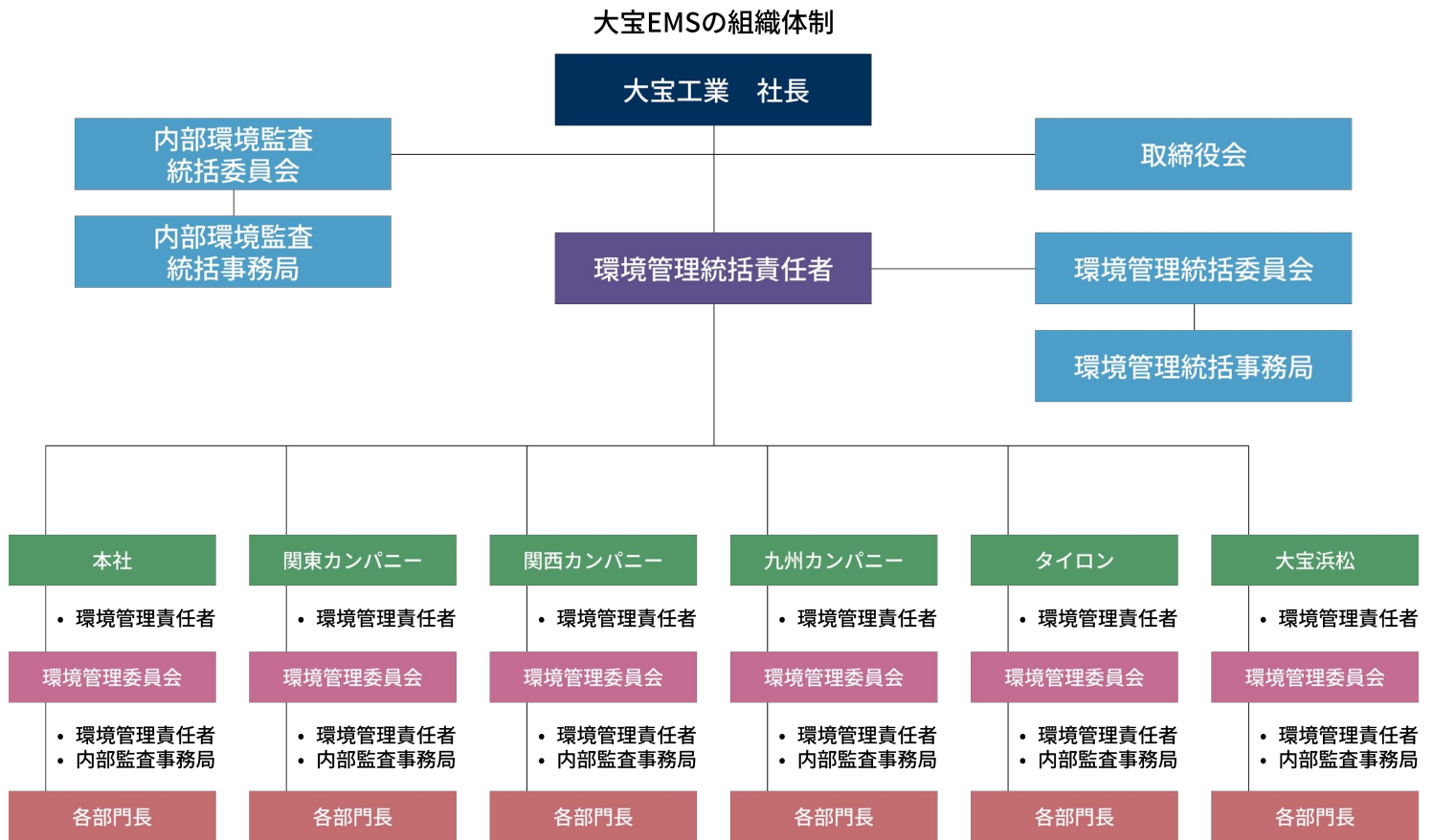
私たち社員とその家族は、かけがえのない地球を守り、恵み豊かな環境を子孫に引き継ぎ、より心安らかな生活を過ごせるように、すべての社員が法規制を守り、さらに自主活動によって、環境への負荷が少ない循環・共生を基調とした事業を構築していかなくてはなりません。

このような認識に立ち、経営基本方針に「かけがえのない地球環境を将来の世代に遺そう」の言葉を付け加えました。そして、環境にやさしいプラスチック成形・加工事業に向けた全社員の自主的な取組みを促進するため、主要事業場において環境管理システムの構築をすすめています。

すべての社員に、環境配慮の行動を徹底させるためには、身近な環境を愛し、日常的な活動から行動を起こすことが重要です。このため、大宝グループの全事業場および生産活動において、ISO14001の認証を取得し、一人一人が出来ることから一歩ずつ環境を守り育てる取組みを開始しています。

環境組織

弊社社長のもと、環境担当取締役を統括責任者として環境管理体制を構築しています。



環境管理活動の取組み

大宝工業株式会社は大宝工業社長、および環境管理統括責任者の基に本社・関東・関西・九州の各カンパニーが統合され活動を行っています。

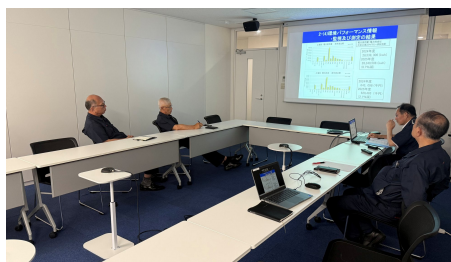
タイロン株式会社や大宝浜松株式会社、海外事業所も、別サイトとして活動しています。

各事業所事毎に環境管理委員会、内部環境監査委員会、専門部会を設置して、環境マネジメントシステムのPDCAを実行し、環境改善に取り組んでいます。

また、TV会議の利用拡大を行い、新型コロナウイルス感染予防施策と合わせて、出張や外出によるCO2排出量の抑制に取り組んでいます。



経営方針発表会＜TV会議使用＞（2025年1月）



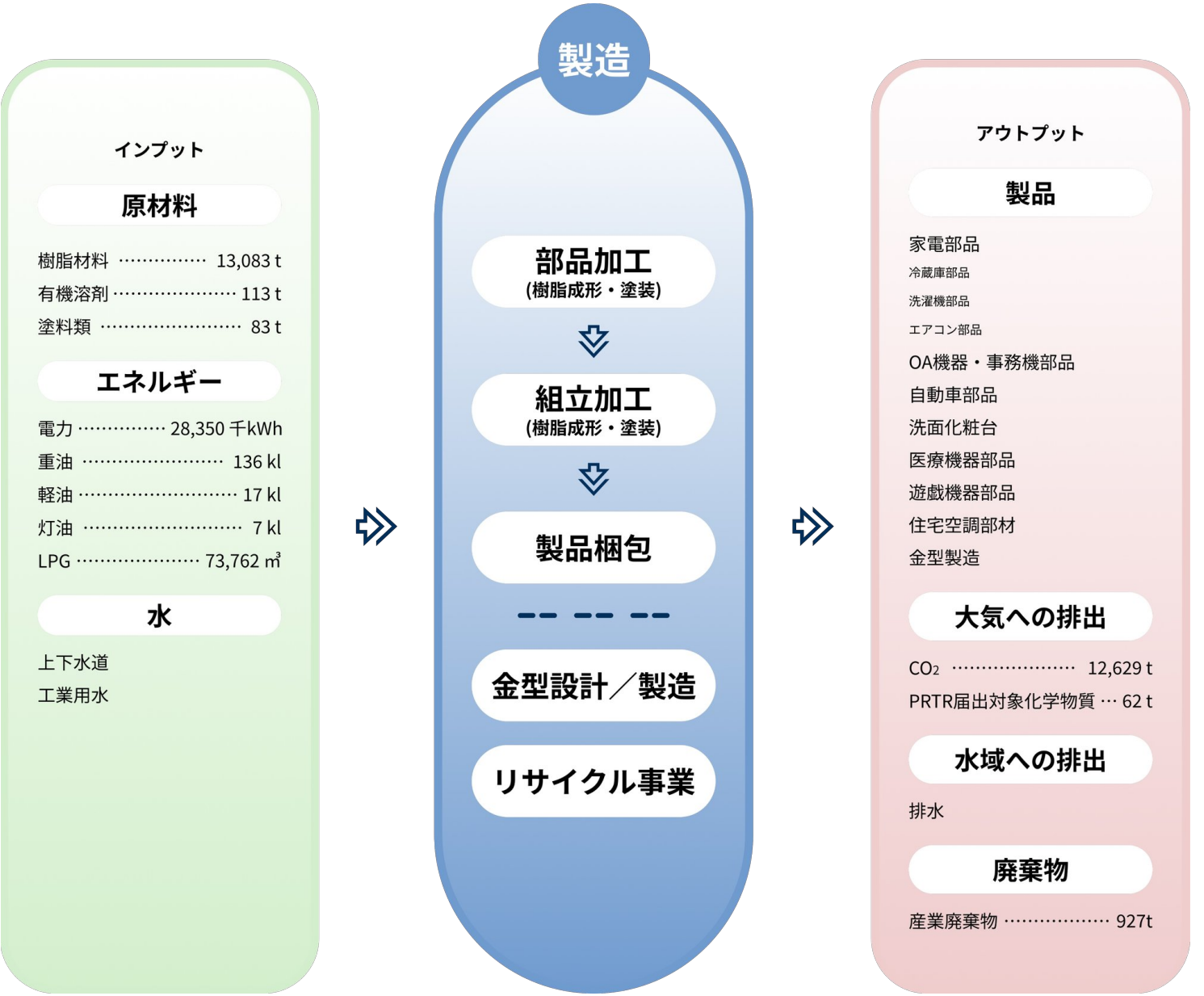
本社マネジメントレビュー



経営方針発表会＜会場＞（2025年1月）

環境負荷の全体像

大宝工業では、家電や自動車等の各種部品の生産活動を行っています。弊社では、モノづくりにおける環境負荷を低減するため、省エネルギー、化学物質削減、廃棄物量低減などの取組みを展開しています。



環境活動 計画・実績

ISO14001環境マネジメントシステムに基づいて中期目標を定め、それをもとに年度ごとに目標達成を掲げて環境改善に取り組んでいます。

取り組み項目		2025年度活動内容	対前年度実績
環境に優しい物作り (省エネ・省資源)	- 電力使用量の削減 - 原材料ロス低減 - 製品不良率の低減 - VOCの削減	- 電動式成形機の導入。エコカーへ切換え、LED証明への切替 - 各事業所単位の電力使用量と電気料金をグラフ化し、電力削減意識の向上を図っている - 小集団活動（「0」に挑戦！）の取り組み - デマンド監視装置の運用	- 電力使用量(総量)0.7%減少 - 電力使用量(原単位)2.1%増加
地球温暖化防止 (CO2排出量の削減)	- CO2排出量削減 - 月次排出量一覧表作成により意識付け - 環境表彰制度 - 社内報に環境関連	2010年度より、各事業所探知のCO2排出量と原単位をグラフにしてフィードバック、各社のCO2削減意識の向上を図っている - 改善事例の水平展開	- CO2排出量(総量)1.9%減少 - CO2排出量(原単位)0.9%増加
産業廃棄物の削減 およびリサイクル	- 産廃物の有価物化 - リサイクル	PPリサイクル材生産目標 日産平均 3,876kg	【実績】 日産平均 3,589kg

環境関連法規制の遵守

環境に関する重要な法律の施行、改正を監視し、常に法律や関係する団体から求められる規制を守り、違反の無いように定期点検を行っています。また大気汚染、騒音、振動にかかわる規制項目については、各事業所ごとに認定機関による計測を行い、基準値内であることを確認しています。

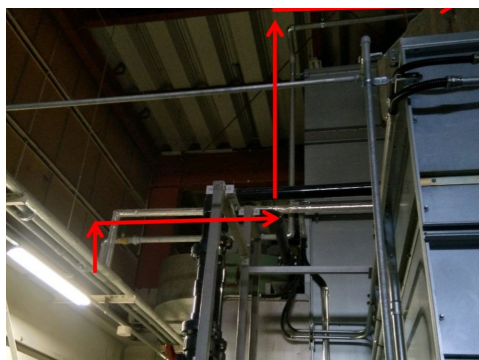
管理項目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績
省エネ法	・企業単位で提出	・企業単位で提出	・企業単位で提出
地球温暖化	・企業単位で対応	・企業単位で対応	・企業単位で対応
廃棄物	・適正処理	・適正処理	・適正処理
PRTR法化学物質	・適正管理	・適正管理	・適正管理
自動車NOx・PM法	・入替実施	・入替実施	・入替実施
大気汚染	・基準値以下	・基準値以下	・基準値以下
水質汚濁	・基準値以下	・基準値以下	・基準値以下
騒音・振動	・基準値以下	・基準値以下	・基準値以下

※環境に関する重大事故、苦情はありませんでした。

改善取組みの事例紹介

環境に関する重要な法律の施行、改正を監視し、常に法律や関係する団体から求められる規制を守り、違反の無いように定期点検を行っています。また大気汚染、騒音、振動にかかわる規制項目については、各事業所ごとに認定機関による計測を行い、基準値内であることを確認しています。

エコ改善内容①



更新前

吐出圧
0.7MPa



更新後

吐出圧
0.6MPa (0.1MPa低減⇒消費電力7-8%削減)
省エネセンター

削減効果
**CO₂排出量
25.3ton/年**

関東カンパニー大田原工場のエア系配管の最適化を行いました。

エア系配管が分岐配管のため末端圧力が降下→吐出圧過剰であったのをループ化で圧力を均一化し、2026年4月以降、吐出圧を下げて元圧を低減し、CO₂排出量を25.3 t-CO₂/年削減見込みです。(各数値は稼働状況により変化します。)

エコ改善内容②



大田原工場送水ポンプ

更新前

実測
10.68kW



更新後

実測
9.60kW ▲10.2%(理論比+9%低下)

削減効果
**CO₂排出量
5.7t-CO₂/年**

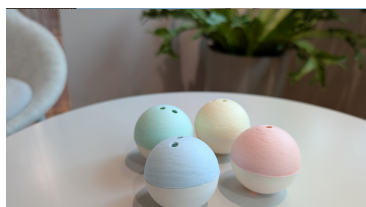
大田原工場では送水ポンプをIE3ポンプに切り替えました。

IE3モーターは銅巻線増量・鉄心形状最適化によりIE1やIE2モーターに比べ、損失を低減できます。連続運転では、わずかな効率差が大きな電力差になります。

製品を通して環境貢献

環境への負荷低減に貢献する製品の研究・開発・展開を推し進めています。

紙成形品「PIM パルプ射出成形品」



国際サステナブルグッズEXPO
でD-PIMを紹介しました。

PIM製トイカプセル（サンプル）

景品付きゲーム用カプセルに採用されました。

大宝グループは1995年に、プラスチックにかわる成形材料の開発に着手し、長年培ってきたプラスチック成形加工技との融合を目指してきました。

パルプ射出成形は、主成分にパルプと澱粉を用いた成形材料を射出成形して、3次元立体構造物を実現する新技術です。

再生樹脂「エコリサイクルシステム」



廃家電から取出したPP(ポリプロピレン)樹脂を回収し、金属除去、異物除去工程後、当社オリジナルの洗浄設備と洗浄液（天然素材）で食品衛生法の基準をクリアできる再生樹脂を生産しております。

社会、地域への貢献活動

大宝グループでは、素晴らしい社風作りと地球環境問題を経営課題と捉え、1999年に「大宝環境憲章」を制定しスタートしました。「環境に思いやる心」を持つを合言葉に、全社員が環境憲章をよく理解し、納得し、そして具体的な行動の出来る集団づくりを実践しています。

会社周辺の清掃活動



工場周辺の清掃活動



琵琶湖一斉清掃

大宝グループ各社では、環境活動の一環として、定期的に工場周辺の清掃活動に取り組み、周辺地域の美化を推進しています。湖南工場では本社一部社員も参加して「琵琶湖一斉清掃」に参加しました。